

LIBERA

[リベラ]



輝く個性。

大阪経済法科大学

Osaka University of Economics and Law

volume

82

2012

Catch the Dream!

夢に向かって前進する

大西 裕太さん
法学部4年生
東京消防庁 内定

誰からも信頼される消防士に

福田 櫻子さん
法学部3年生
法科大学院 進学希望

憧れの弁護士をめざして

元気
いっぱい!

躍 動 す る
経 法 生 !

“快適なキャンパス”めざして、仲間と一緒に
学友会の活動を広めていきたい!

学友会の縁の下の力持ち的な活動が性格に合っている

大学入学後に開催された新入生歓迎祭で学友会の冊子が配られているのを見て、学友会活動に興味を持ちました。クラブ活動だと、たとえば野球部なら大学野球の大会に出場して勝つとか、目標がはっきりしていると思いますが、学友会活動はキャンパスの環境をよくして、在学生に充実した大学生活を過ごしてもらうなど、縁の下の力持ち的な活動を行う組織です。自分も性格的に、目立たないけれど人の役に立ちたいという、縁の下の力持ち的なところがあったので、学友会活動が自分に合っているという学友会執行委員会に入りました。

学生主体で自発的に活動できるのが学友会の魅力

本学の学生は年2回、学費とともに学友会費を収めているのですが、そのことを知らない学生も多くいます。学友会執行委員会では、みなさんから収められた学友会費を預かり、新入生歓迎祭や卒業生祝賀祭、それに大学で最も大きなイベントである経法祭の運営費として活用しています。また、クラブ活動への支援、活性化を目的に、学友会費から各クラブに助成金を配分しています。さらに、クラブ活動で改善したいところなどがあれば学友会で意見を聞き、解決に向けた取組などを行っています。

さらに、キャンパスの環境整備の一環として、喫煙マナー向上キャンペーンなどを実施し、学内に啓発ポスターを貼ったり、喫煙場所以外に落ちている吸殻の清掃活動や、歩きタバコをしている学生を見かけたら注意するという活動にも取り組んでいます。

高校と違って先生や大学に干渉されず自発的に活動できるところが、学友会の魅力です。マナー啓発活動は、どうすれば学生のマナーが向上するのか、学内の環境をよくできるのか自分達で試行錯誤を繰り返し、創意工夫を重ねながら活動しています。それが実は大変だったりするのですが、一番楽しくてやりがいを感じています。

仲間とともに学生がもっと快適に過ごせるキャンパスに!

高校時代、私はクラブ活動に参加していない“帰宅部”だったので、人と協力して何かに取り組むという経験をしたことがありませんでした。自分では気づかないのですが、高校時代の友達と再会すると「高校時代は頼

りなかったのに、しっかりしたね」と言われたりします。学友会の活動を通して先輩から指導を受けたり、仲間と協力しながら活動に取り組んだり、後輩の面倒を見たりという経験を積んで成長したのだと思います。

これから執行委員長として実行したいと思っていることは、学生のみならずにとってもっと過ごしやすいキャンパスを実現することです。キャンパス内のマナーが悪くなってきているなど、さまざまなことが原因で「大学が楽しくない」と思っている学生が一人でもいなくなるように、そして学生一人ひとりが充実した楽しいキャンパスライフを過ごせる環境をつくっていききたいです。

「LIBERA」を読んで学友会活動に興味を持った人は、花岡キャンパス文化会館2階にある学友会執行委員会室に是非足を運びください。いつでも歓迎します。十人十色という言葉があるように、人数が多ければ多いほどたくさんのアイデアが飛び出してくるはずです。一緒に考えてくれる仲間がたくさんいたらそれだけで心強いので、私達と一緒に快適なキャンパスをつくっていきましょう。



Profile

法学部3年生
学友会執行委員会委員長
松原 弘樹さん

PROFILE

今井武大さん Imai Takehiro

- 2008年3月 法学部卒業
- 2011年3月 北海道大学大学院法学研究科
法律実務専攻 修了
- 2011年 新司法試験 短答式試験合格
- 2012年9月 司法試験 短答式試験合格
短答式試験と論文式試験の
総合評価による司法試験
最終合格



10月2日(火)、「平成24年司法試験」に合格した本学法学部卒業生の今井武大先輩を講師に迎え「講演会」を開催しました。法科大学院進学をめざして勉強に取り組んできた大学時代の経験や、北海道大学法科大学院進学を経て、司法試験合格を果たすまでの道程を熱く語っていただきました。

私は司法試験に合格して、夢である法曹界への扉を開くことができました。長年の憧れである弁護士はもちろん、裁判官や検察官にも興味を持っています。このように法曹界で働く夢に手が届きそうなところまで来れたのは、本学のSコースで学習に励み、志望の法科大学院に合格できたからです。司法試験合格をめざすみなさんも、まずは、法科大学院合格を勝ち取ってください。そして、そこから司法試験合格への第一歩を踏み出してほしいと思います。

司法試験は条文と判例で構成されています。司法試験を受けたことを考えているなら「六法全書」の条文を意識して勉強してください。それぐらい条文は大事なものだということを忘れないでほしいと思います。大学時代の今から、条文から離れない勉強を意識して続けていけば、司法試験合格は決して遠くはないと思います。

司法試験合格が開いた 法曹界への憧れの扉

て身につけた法律を適用して問題を処理できるかが問われます。そのことを踏まえた勉強方法として、択一式試験の問題を解くために、たとえば我妻榮著の「民法論」などの基本書を読んで、徐々に読める部分を増やしていくという学習を重ねました。その努力が実って今年、念願の司法試験合格を果たすことができました。

私 は本学卒業後の2008年に北海道大学法科大学院の3年コースに進学しました。高校生の頃から、「人の役に立つ仕事に就きたい」と思っていた私は、法律に関わる仕事なら困っている人の役に立てるし、社会貢献もできるのではないかと考え、弁護士をめざすようになりました。法科大学院進学対策講座を受講できるSコースがある本学の法学部に進学しました。Sコースでは、法科大学院(未修)の必須試験科目である「適性試験対策講座」と「小論文講座」を受講し、苦手だった「適性試験」の学習に取り組みしました。「適性試験対策講座」のいいところは、先生に最新の問題の傾向を指導してもらえるこ

とです。数多く問題を解いていくうちに80点位取れるようになりまし。また「小論文講座」では、先生の添削指導を受けることができたので、70通もの小論文を書き上げることができました。法科大学院進学をめざす学生のみなさんは、この講座を積極的に活用してほしいと思います。また、法科大学院の試験では、学部成績もかなり重視されるので、正課授業も、できるだけいい成績を取っておくことが大切です。

法 科大学院で学ぶ目標はただ一つ。「司法試験」合格

法科大学院進学はただ一つ。司法試験に合格することです。1年目から「憲法」「行政法」「民法」「民事訴訟法」「刑法」「刑事訴訟法」「商法」の7科目を勉強します。私は、1年目は授業についていく

【特集1】今井武大先輩が語る 私が司法試験合格を 勝ち取るまで

のがやっとでした。そこで「予備校本」と呼ばれる参考書を利用して勉強し、そこに書かれている知識をとにかく覚えることで、何とか2年目の学習につなげることができました。3年目になると実務家教員という、弁護士や裁判官の方が講師を務める授業が入ってきました。この授業は事例自体が複雑な100ページもの資料が配られたりすることもある難しい授業です。しかし、その事例について先生と一緒に検証しながら進めるので、興味深く勉強することができました。

司法試験は「憲法」「行政法」「民法」「民事訴訟法」「刑法」「刑事訴訟法」「商法」の7科目と選択科目1科目による論文と短答式試験で行われます。日常生活の中で起こるさまざまな問題に対して、法的に解決するのは「民法」なのか「刑法」なのか、あるいは「会社法」なのか、勉強し

CONTENTS

Catch the Dream!

～夢に向かって前進する～

02 【特集1】

今井武大先輩が語る
私が司法試験合格を
勝ち取るまで

04 【特集2】

KEI×HO STUDENT
～今、輝く経法生たち～

渡辺 太一さん(経済学部3年生)
鼻毛 一真さん(法学部1年生)
鈴木 崇大さん(法学部1年生)
前川 真実さん(法学部3年生)
パドラル トブシンジャルガルさん(法学部1年生)
松崎 令さん(法学部4年生)
小瀧 貴大さん(法学部2年生)
東 翔虹さん(経済学部1年生)

08 【Close-up KEI×HO】

10 【KEI×HO NEWS】

12 【2012年度 大学事業計画の概要】

16 【元気いっぱい! 躍動する経法生!】

2012年11月30日発行

【編集】大阪経済法科大学事務局庶務課
〒581-8511 大阪府八尾市楽音寺6丁目10番
TEL 072-941-8211 FAX 072-941-4426

<http://www.keiho-u.ac.jp/>

.....
最先端の学習設備が整った八尾駅前
キャンパスで学習意欲がさらにUP!
.....

金 融業界を志望している私にとって、「信用金庫論」は最も熱心に取り組んでいる講義の一つです。実際に信用金庫や企業で勤務されている方を講師に迎え、信用金庫の仕組みや業務について現場の話を聞きながら勉強しています。それに、業界の方と実際に話ができる貴重な時間となっています。

今年開校された八尾駅前キャンパスには、全教室にブ

ロジェクターが設置されており、すぐにプレゼンテーションを行えるのが魅力的です。また、直接、書き込みができる電子黒板を備えたアクティブラーニング教室は、新しい講義を体験できるので、非常に満足しています。さらに平日の22時までキャンパスが開放されているので、夜も自習できるのがうれし

いです。今後は証券会社内定をめざして、自習にも力を入れていくつもりです。



経済学部3年生
渡辺 太一さん

.....
4年間の大学生活。目標に向かって勉強し、
やりたいことには、ためらわずに取り組みたい!
.....

警 察官をめざす私が、大阪経済法科大学を選んだ理由は、正課授業と一緒に公務員対策講座を受講できるSコースがあるからです。Sコースの「公務員基礎講座」では、公務員の職種や採用試験の内容研究、時事対策などを行っています。また、「集団討論講座」は、討論などに不慣れな私にとって有意義な授業になると期待しています。

正課授業の「文章表現入門」では、先生が丁寧に指導してくださるので、文章の作成能力が向上してき

たと実感しています。

また、課外活動では環境サークルに所属しています。花岡キャンパス内のふれあい池で飼育している絶滅危惧種「ニッポンバラタナゴ」の保護や、八尾市の環境保全活動に取り組んでいます。この活動を通して先輩や地域のみなさんと交流することができ、日頃の授業では体験できない貴重な経験をさせてもらっています。



法学部1年生
鈴木 崇大さん

かなえない夢はそれぞれ違うけれど、勉強に、クラブ活動や課外活動に…さまざまなフィールドでがんばっている経法生たち。夢に向かって前進する経法生をクローズアップして紹介します。

特集 2 KEI×HO STUDENT ~今、輝く経法生たち~



法学部1年生
鼻毛 一真さん

.....
勉強と陸上部の活動を両立させて、「消防士」になる夢に挑戦したい!
.....

高 校時代から陸上部だった私は、大学でも陸上部に入ると決めていました。大学入学後、私と同じように高校時代、陸上をやっていた友達数名と入部しましたが、部員は新入生の私たちだけでした。しばらくして2年生の先輩が入部してきました。今はみんなの意見を反映させて、インカレ出場めざして練習に励んでいます。

将来の夢は消防士になることです。他の部員も消防士が警察官をめざしています。

す。消防士になりたいからこそ、公務員採用試験の対策講座を受講できる大阪経済法科大学を選びました。部員みんなの一致した目標は、クラブと勉強の両立です。全員、Sコースの「公務員講座」を受講しており、学年が上がるに従って、勉強とクラブの両立が難しくなると思いますが、消防士になる夢を憧れで終わらせたくないのです。すべてのことに全力で挑戦し、みんなで採用試験「合格」を勝ち取りたいと思います。



法学部3年生
前川 真実さん

.....
八尾駅前キャンパスの学習環境を活用し、
地元貢献できる公務員をめざして……
.....

駅 からのアクセスがよく、最新設備が整っている八尾駅前キャンパスの学習環境をとてにも気に入っています。パソコンが設置されていて、何か調べたいことがあるときに活用しているのが図書館です。以前、花岡キャンパスの図書館で見つけた本を貸し出しできるか問い合わせたところ、予約図書として八尾駅前キャンパスで受け取ることができ、大変助かりました。

公務員をめざしている私

は、今は税法の学習に力を入れていきます。先生の熱心な指導により、勉強が楽しくて空き時間に10階の自習室を利用して、自習することが多くなってきました。また、公務員採用試験対策として、Sコースの「国家地方上級公務員講座」も受講しています。将来は、地元の市役所勤務が希望なので、いずれは国家と地域の観点から学べる、行政法も受講したいと思っています。

.....
たくさんの人と触れ合って視野を広げたい！
留学は「夢」に向けての取り組みの第1歩

私 はモンゴルから来日した留学生です。大学では経済学の学習に、興味深く取り組んでいます。理由は経済の仕組みを学ぶことが将来、社会に出たときに必ず役立つし、法律と並んで必要なことだと思うからです。私にとって「日本に留学している」ことは、「夢」に向かうステップアップの一つです。当面は「日本語能力検定試験N1級」に合格することを目標に勉強に力を入れています。さらに、将来ヨーロッパ

へ留学することを視野に入れ、英語をネイティブスピーカー並みに話せるように、学習に取り組んでいます。大学でお気に入りの場所は、花岡キャンパスにある学生ホール棟「クロノス」です。食堂では友達と楽しくランチタイムを過ごしています。もう一つは図書館です。実用書からベストセラーまで多彩な書籍がそろっている上に、映画鑑賞もできて、パソコンも使えるし、落ち着いて学習するのに最適です。



法学部1年生
バドルルトブシンジャルガルさん

.....
メンター体験を通して、気配り上手な人間に！
国際派の弁護士をめざして海外留学へ！

入 学当初、心細そうにしていた私に声を掛け、気づかせてくれたのがメンターの先輩でした。先輩のおかげで大学に馴染めて友達もできました。私も先輩のように、先輩が楽しい大学生活を過ごせるようにサポートしてあげたいと思い、メンターになりました。今は後輩たちの心の変化などに気をつけるながら自分から声を掛けるなどし、後輩とのコミュニケーションを図っています。私は将来、「犯罪被害者を

法律で守れる仕事」に就きたくて、弁護士をめざせる本学へ入学しました。今もその志は変わりませんが、企業の海外進出がめざましい昨今、法曹も海外を視野に入れた活躍をめざすべきだと考えるようになりました。韓国へ留学した友達に触発され、来年、英語圏の国へ留学予定です。英語力を身につけ、卒業後は海外のロースクールに進学したいと思っています。そして、夢は国際的に活躍できる弁護士になることです。



法学部2年生
小龍 貴大さん

【「メンター制度」とは…】

上級生が新入生の学びをサポートする制度です。メンターとなる先輩は、レポートの書き方や資料の集め方などのアドバイスはもちろん、資格取得やクラブ活動、大学生活などの面でも、自らの経験をもとに助言してくれます。

KEI×HO STUDENT



法学部4年生
松崎 令さん

.....
グループワークでの経験を活かして
憧れの証券会社内定を獲得！

金 融関係に興味があった私は、1年生のときにSコースの「会計職基礎講座」を受講し、日商簿記検定2級に合格できました。2年次に受講した「キャリア演習」では、課題の業界研究で取り組んだ金融・証券業界に興味を持つようになり、卒業後は証券会社に就職したいと目標がはっきりしました。4年間の学習を通してたくさんグループワークを経験してきましたが、今、一番興味を持って取り組んでいる「リーガルライティング」もその一つです。テーマになる文献1冊を決めてその内容について、学生と教員が議論を重ねるこの授業でも、グループワークで司会や進行を多く担当してきたことが大きな強みになっています。4年間の経験を活かして自信を持って就職活動に臨めたからこそ、憧れの証券会社の内定を勝ち取れたと思っています。



経済学部1年生
東 翔虹さん

.....
目標は高く！いろいろなことに挑戦
「簿記検定」「秘書検定」の資格取得

大 学に入っではじめてクラブ活動を通して、私は変わりました。いろいろな人と出会い、初対面の人にも気がねなく話かけられるようになり、友達が増えました。ただ、入学して間もない頃は、大学の授業についていけるか不安でした。でも、チューター（教員）、サブチューター（職員）、メンター（学生）の先輩がレポートの書き方など、勉強の方法を教えてくださいました。また、学習面ばかりではなく、困ったことがあるときは、何でも相談に乗ってくれる心強い存在です。おかげで安心して授業に取り組むことができています。そんな私の4年間の目標は、在学中にたくさん資格を取得することです。今後、資格取得講座を活用して、もっと勉強に励もうと思っています。大学生活の4年間は、興味があることにはクラブでも、勉強でも、何でも挑戦してみるつもりです。

多彩なイベントが
開催され、
たくさんの来場者で
大盛況でした!

Close-up KEI×HO

経法祭 実行委員会



年に一度の一大イベント『第41回経法祭』が閉幕!

テーマは『NEXT CHALLENGE』。経法祭の次なる挑戦!

PROFILE



大西 裕太さん 法学部4年生
第41回経法祭実行委員長
東京消防庁 内定

1年次より経法祭実行委員会、体育会本部、体操競技部に所属する。
3年次、経法祭実行委員会副実行委員長、体育会本部長に就任し、年に一度の大イベント・経法祭と体育会活動を統括する。また、自らが発起人となり、東日本大震災復興支援実行委員会を結成。実行委員長として被災地へのボランティア活動参加の指揮を執るなど積極的に活動。学部・学科・学年を超えて、学生たちから慕われるリーダーとして活躍中。

私は消防士をめざし、1年次からSコースを受講しています。「勉強との両立ができれば、実行委員の活動をやってはいけない」と、自分に言い聞かせて実行委員会の活動に取り組んできました。その甲斐あって消防士の採用試験にも合格することができ、先輩には「俺でも両立できたのだから、がんばればできる」ということを伝えたいです。大学生生活最後となる今年、自分自身も「NEXT CHALLENGE」の精神で経法祭に臨みました。実行委員会も一人ひとりが持てる力を発揮して、それぞれ新しい何かを見つけてくれたはずです。その、何かを来年には是非つなげてほしいと思います。

今年は八尾駅前キャンパス開校という記念すべき年でもあるので経法祭をさらに盛り上げたいと思います。人気アイドルグループ「Berryz工房」を迎え、4年ぶりに体育館コンサートにチャレンジしました。タレント局の学生が芸能プロダクションと出演交渉を行ったのですが、実行委員会の活動では、普段の授業で経験することができないようなこともたくさんあり、社会人基礎力を身につける貴重な経験ができたと思っています。

経法祭実行委員会は、実行委員長と副実行委員長、分野別に9つの編成局で構成されています。財務局、広報局、警備局、ステージのイベントを担当するメインイベント局、ステージ以外のイベントを担当するキャンパスイベント局、意匠関係を担当するキャンパスデザイン局、模擬店担当の出店局、祭りのフィナーレを飾る花火を担当する花火局、ゲストを手配するタレント局の合計9局を擁しています。9に引つけて「9キョク」究極の実行委員会」と呼んでいます。

今年も盛況のうちに幕を閉じた『第41回経法祭』。大西実行委員長が、経法祭実行委員会への「熱い想い」を語ってくれました。

第6回全日本学生テコンドー選手権大会で優勝

9月23日(日)、潮風アリーナ(神奈川県)で第6回全日本学生テコンドー選手権大会が開催され、芝田健太選手(経済学部4年生)が、見事68kg級で優勝を果たしました。

また、63kg級で三橋佑樹選手(経済3年)が準優勝、54kg級で藪貴恒選手(経済3年)が3位入賞を果たしました。

男子卓球部 全勝で1部昇格

9月6日(木)、平成24年度秋季関西学生卓球リーグ戦が、ベイコム総合体育館で行われ、男子卓球部が2部リーグで全勝優勝を達成し、1部リーグ昇格を決めました。同部は、春季リーグ戦で2部リーグに降格し、雪辱を期して望んだ秋季リーグ戦で圧倒的な力を見せつけ、見事全勝で1部復帰を果たしました。

また、同部に所属する杉谷英明選手(経済学部3年生)に敢闘賞が授与されました。



7ヶ国・地域の学生が参加し、第6回国際学生交流セミナーを開催



8月2日(木)～15日(水)の2週間、本学海外提携校との協力のもと、本学と各国・地域の学生が日本・中国・韓国を訪問し、国境を越えて共に学ぶ「国際学生交流セミナー」が開催されました。

6回目の開催となった今年度のセミナーには、本学、復旦大学(中国)、崇実大学(韓国)、ロシア極東連邦大学、台湾大学、モンゴル大学に加え、コロラド大学(アメリカ)を新たに迎え、7ヶ国・地

域の学生たちが参加して行われました。

本セミナーは共通言語を英語としており、本学の学生10名を含む総勢34名の参加者は、ソウル・大阪・上海の順に各国を訪問しながら、セミナーテーマである『東アジア共同体構想について』、国や文化、認識の違いを超え建設的な議論を交わし、大学の授業では経験できない充実した時間を過ごしました。

400名の高校生が参加し、熱戦を展開 第9回KEIHO CUP開催

7月15日(日)・21日(土)・22日(日)の3日間、本学総合体育館「尚淑館」で第9回KEIHO CUP(高校生バスケットボール大会)が、体育会本部・体育会バスケットボール部の協力のもと、開催されました。3日間の日程で開催された同大会は、近畿圏にある高校との交流、親睦を図るとともに、互いの技術力向上を目的に毎年開催されています。今大会には15チーム約400名の高校生が参加し、熱気と声援に包まれた体育館の中で、日頃の練習成果を存分に発揮しました。

第7回東アジア学国際学術シンポジウム 「新しい世界秩序と東アジア」を開催

9月7日(金)～8日(土)の2日間、中国の中山大学(広東省広州市)において、「新しい世界秩序と東アジア(New World Order and East Asia)」という主題テーマのもと、第7回東アジア学国際学術シンポジウムが開催されました。

同シンポジウムは、本学アジア研究所と本学海外協定校である北京大学東亜学研究中心がアジア各国の大



学・研究機関と連携し、2000年よりアジアの主要都市にて隔年で開催されているもので、今回は、中山大学(Sun Yat-Sen University)亜太研究院の協力を得て、開催されました。

シンポジウムでは「政治」、「経済」、「文化と教育」の3つのセッションがもたれましたが、アジア各国及び米国・ロシアから参加した27名の研究者より最新の研究成果が発表され、発表後にはアジアの平和・繁栄と協力連携を観点に活発な議論が交わされました。

本学からは、前田幸男准教授(法学部)、伍躍教授(教養部)、友永雄吾アジア太平洋センター研究員(国立民族学博物館・外来研究員)の3名が発表を行いました。

八尾市の小学生を対象に、英語体験学習会を開催

7月6日(金)、本学花岡キャンパスにおいて、八尾市立西山本小学校(植田隆夫校長)の5・6年生約100名の児童を対象とした英語体験学習会が実施されました。同小学校の児童を対象とした英語体験学習会は、今回で3回目、当日は12名の本学学生・留学生が「1日インストラクター」となり、授業や交流会などの運営にあたりました。英語体験学習会に参加した元気いっぱいの小学生たちは、運営担当の学生たちとともに打ち解け、英語で話しかけたり、歌を歌ったりと楽しそうに過ごしていました。

また、今回の体験学習には、同小学

校の先生・保護者の方々約20名も参加し、英語を学ぶ子どもたちの姿を微笑ましく見守っていました。学生・留学生にとっても、普段あまり接することのない地域の子供たちや小学校の先生方・地域住民の皆さんと時間を共にする貴重な機会となりました。



2012年度 春学期卒業式を挙行

9月21日(金)、花岡キャンパスプレミウムホール「ガリオン」にて、2012年度春学期卒業式が挙行され、17名(経済学部9名、法学部8名)の学生が本学を卒業しました。

式では学歌斉唱に続き、藤本和貴学長から一人ひとりに学位記が授与されました。藤本学長は式辞で、「皆さんは大学で経済学、法学を学び、さらに自然科学から人文科学まで、より幅広い知識を習得して卒業します。個別で具体的な事例を分析することで、世界の大転換の時代をどのように見通し、新しい指針をいかに打ち立てるか、といった問題を本当に考えるための基本を学んでいるはずです。どうかこれまで学んだことを土台として、人生を切り開いていってください。」と激励の言葉を贈りました。

最後に行われた卒業生代表挨拶では、経済学部の西川勝己さんから、大学生活で得た人との繋がりへの感謝の言葉、新社会人としての抱負が述べられ、春学期末卒業式は保護者、在学生、教職員が祝福する中、閉式となりました。

2012年度大学事業計画の概要

2012年度大学予算及び事業計画が3月26日の理事会で承認され、4月1日より執行されています。本学では、大学の主な財源である学生生徒等納付金収入すべてを教育研究の充実と大学の発展のために活用する、大学予算制度を導入しています。「2012年度大学予算書」は、15ページに記載したとおりですが、同予算に基づいて実施されている2012年度の事業計画の概要を以下に紹介します。

教育力の向上

八尾駅前キャンパス「オーバル」の開校及び2012年度からの経済学部・法学部新コース制教育の開始を契機とし、2つのキャンパスにおいて展開される本学の学士課程教育を充実させ、教育力を飛躍的に向上させます。

(1)経済学部及び法学部のコース制の実質化、発展的な教育プログラムとしてのアドバンストプログラムの実施、演習改革の推進、特修講座・資格講座の改革により、教育的付加価値の向上をめざします。

・経済学と経営学を共に学ぶことができるといふ経済学部の特徴を明確にし、経済学部新コース制に基づく学士課程教育を更に充実させます。

・法曹及び公務員として活躍する人材の育成、豊かな国際感覚と就業力を兼ね備えた職業人の育成をめざし、法学部新コース制に基づく学士課程教育を更に充実させます。

・演習教育の強化に向けて、演習教育における到達目標をシラバスに明示します。

・学生の主体的な学習を促すために、体験型実践型学習プログラムを充実させます。

・新司法試験合格者の高い法科大学院及び法科大学院既修コース

への進学者数増加、公務員合格者の増加、公認会計士及び税理士試験合格者輩出並びに各種資格試験合格者増をめざした正課内外の学習指導を強化します。

・「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」を踏まえ、学士課程教育の体系的・一貫性を確保し、教育の質を保証します。

(2)学生一人ひとりへのきめ細やかな学業継続指導を行います。

・すべての初年次教育科目において、1年次のトータルな到達目標を定めます。

・初年次演習である大学演習の運営体制を強化し、1年生への学習支援体制を強化します。

・本学における学習ポートフォリオシステムであるキャリアポートフォリオを活用した学習成果、就職活動・面談記録等の蓄積と可視化を進めます。それを活用し、学生自らの自覚的なキャリア形成を促すとともに、きめ細やかな学業継続指導を行います。

(3)教育課程の充実と教育力の強化をめざして、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究である、ファカルティー・ディベロップメント(FD)を推進します。

・学生の主体的な学びに資するシラバスの在り方についての検討を

進め、シラバスを改善します。

・学生による授業評価アンケート、教員相互の授業参観などを活用し、授業改善を図ります。

キャリア支援とキャリア形成教育の強化

極めて厳しい環境の中で就職活動を行う学生に対して、2つのキャンパスにおけるキャリア形成支援を強化し、4年間を通じたキャリア形成に必要な順次的、体系的支援を強化します。

(1)アクセスの良い都市型というオーバルの特性を最大限活用したキャリア支援活動を展開します。

・学生の希望進路の実現に向け、企業の採用担当者によるキャリア相談の実施、4年生就職内定学生のキャリアメンターとしての活用など、学生への個別キャリア支援の充実ときめ細やかな支援体制を構築します。

・求人件数を増加させ、学生への求人情報の提供を強化し、求人先と学生へのマッチングを充実させます。

・就職活動序盤期のキャリア支援対策を強化します。

・「就勝実践キャンブ」「学内合同会社説明会」「学内個別会社説明会」「首都圏就勝ツアー」など多彩なキャリア支援行事を推進します。

切に向き合い、多様化する学生ニーズに応える学生支援を強化します。

教育におけるICT活用の推進

・ICTを活用した学生主体の能動型・参加型学習を拡充し、専門教育、キャリア形成教育及び共通教育の充実・発展を図ります。

・ICTを活用した教学サービスと学生利便性の向上、多様な学習とコミュニケーションの機会の提供を進めます。

大学は、時代の要請に応える行動力のある知性豊かな人材養成を行う教育研究拠点です。予測困難な時代において、このような人材養成を担う大学教育とその改革に対する社会からの期待は高まっています。

本学は、その期待に応えるべく、新たな定員での学生募集及びオーバルにおける教育の本格的開始を、このような大学改革を推し進める契機ととらえています。教育改革を推し進め、建学の理念に基づく実学教育を強化することによって、高度な専門知識と優れた国際感覚を備え、産業界に有為なる人材を輩出するために、2012年度大学事業計画の完遂に向け、今後も尽力してまいります。

志願者及び入学者の受入れ

・新たな入学定員に基づき、優れた

・学生が労働への意欲・態度を高めるとともに、就労に必要とされる知識・技能を深めるため、インターシップへの参加を積極的に促し、参加者数を増加させます。

・女子学生と留学生に対する就職活動の支援を強化します。

(2)キャリア形成教育の内容を豊富化させ、履修者を増加させます。

・演習形式で学生のキャリア形成を図る授業「キャリアデザイン演習A・B」(2年次)及び「キャリア演習A・B」(3年次)の開講クラス数と履修学生数を増加せるとともに、内容の充実を図ります。

・1年次において、講義形式で学生のキャリア意識を涵養する授業「キャリア開発I・II」の学生履修率を高めるとともに、その内容の充実を図ります。

・高度なビジネス知識や実践力を育むためのアドバンストプログラム「BLP(ビジネスリーダープログラム)特別演習」「専門演習」及び「キャリア演習、キャリアデザイン演習」をとおして、演習におけるキャリア形成支援を強化し、学生の就業力の形成を図ります。

グローバル人材の育成と国際交流の推進

・政府の「留学生30万人計画」に則り、留学生の受入れと派遣を拡充するとともに、次世代を担

うグローバル人材の育成と相互交流に貢献します。

・経済学部、法学部で新たに始まる国際系コースのカリキュラムを具体化します。

・グローバルで活躍できる人材を育成するためのアドバンストプログラム「GCP(グローバルキャリアプログラム)」開講に向け、経済学部及び法学部において、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力を育むプログラムを構築します。

・外国語能力、海外経験を学生のキャリア形成に結びつけることができるように、国際教育プログラムの充実、強化を図ります。

施設整備計画の推進

・花岡キャンパスにおける施設整備計画の一環として、5号館大規模リニューアル工事を実施します。

・開校後のオーバルを円滑に運用し、より効果的に活用するため、施設・設備を継続して整備します。

学生支援の強化

・オーバルと花岡キャンパスのそれぞれの特色を活かし、クラブ・サークル活動、学生行事、ボランティア等学生の自主的活動への支援を強化します。

・学生一人ひとりの不安や悩みに親

2012年度
大学予算収支
概要

収入について

2012年度の収入の概要は、以下のとおりです。（金額は、すべて概算額です。）

①「学生生徒等納付金収入」
21億6千9百万円

新入生、在学生から納めていただく入学金、授業料、実習費等の学費です。本学における、主要な財源となっています。

②「手数料収入」
4千3百万円

入試の検定料や成績証明書など、各種証明書の発行手数料及び、大学入試センター試験実施手数料です。

③「補助金収入」
1千6百万円

私立大学等経常費補助金で、2011年度交付額と同額を計上しています。

④「大学整備充実資金運用収入」
8千3百万円

大学整備充実資金の運用利息収入です。安全性と効率性を勘案し預金や国債で運用しています。

大学整備充実資金の内容は次のとおりです。

・建物等減価償却引当特定資産（建物及び構築物の減価償却分を積立て、建物等の建替えや施設等の充実に活用する特定資産）

・建物等修繕引当特定資産（長期修繕計画に基づき、修繕費を積立てている特定資産）

・八尾駅前キャンパス建築引当特定資産（2011年11月末に竣工した八尾駅前キャンパス「オーバル」の整備工事代等を引当てた特定資産）

・退職給与引当特定資産（教職員の退職金の支給のために積立てている特定資産）

・大学将来対策引当特定資産（大学の将来の充実・発展のために積み立てている特定資産。支出超過額の補填にも充当する。）

⑤「雑収入」
7百万円

科学研究費補助金（文部科学省による研究費助成）の間接経費その他の収入です。

支出について

2012年度の支出の概要は、以下のとおりです。

①「人件費支出」
16億4千3百万円

専任教職員や非常勤講師、嘱託職員・契約職員等に支払われる給与、手当及び退職給与引当特定資産繰入支出額などです。

②「教育研究経費支出」
5億7千4百万円

教育、研究に直接要する経費であり、前項の事業計画

⑤「その他の支出」
6千万円

教育研究用の機器備品図書などの購入費です。

④「建物等減価償却引当特定資産繰入支出額」、
「建物等修繕引当特定資産繰入支出額」
5億1千万円

それぞれの特定資産の設定趣旨に基づいて、毎年度所定の金額を繰り入れます。

③「管理経費支出」
3億1千3百万円

教育研究活動を支える大学管理運営上の経費や、学生募集経費などです。

に沿って編成しています。今年度において主な内容は、①各種奨学費事業に7千3百万円、②特修講座や資格講座等の開講事業に6千3百万円、③キャリア支援や就職指導の充実事業に4千万円、④課外活動、教育充実事業への支援事業に3千4百万円、⑤国際教育の充実事業に8百万円等となっています。

2012年度 大学予算書

2012年4月1日から2013年3月31日

（単位：千円）

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	2,169,480	人件費支出	1,642,697
授業料収入	2,048,080	教員人件費支出	899,194
入学金収入	117,200	職員人件費支出	664,264
その他納付金収入	4,200	退職給与引当特定資産繰入支出額等	79,239
手数料収入	42,648	教育研究経費支出	573,919
入学検定料収入	40,000	報酬委託手数料支出	182,117
試験料収入	148	奨学費支出	83,354
証明手数料収入	2,500	光熱水費支出	68,618
補助金収入	16,367	その他教育研究経費支出	239,830
大学整備充実資金運用収入	83,000	管理経費支出	313,139
雑収入	7,403	印刷製本費支出	59,209
		報酬委託手数料支出	30,466
		旅費交通費支出	8,980
		その他管理経費支出	214,484
		建物等減価償却引当特定資産繰入支出額	410,032
		建物等修繕引当特定資産繰入支出額	100,000
		その他の支出	60,008
収入の部合計	2,318,898	支出の部合計	3,099,795
		当年度支出超過額	780,897

※この2012年度大学予算書は、本学が予算管理目的のために設定している「大学の予算」の収支を勘定科目別に表示したものです。

※当年度支出超過額は、大学将来対策引当特定資産を取り崩して補填します。

大学整備充実資金（2012年度期首残高）（単位：千円）

建物等減価償却引当特定資産	3,392,379
建物等修繕引当特定資産	979,013
八尾駅前キャンパス建築引当特定資産	64,091
退職給与引当特定資産	1,294,566
大学将来対策引当特定資産	2,465,508
合計	8,195,557

収支構成図

